事業者における放課後デイサービス　自己評価表

事業所名　スマイルネクストクラ

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	1	利用人数によって 活動の内容・ルールに変化をもたせ 安全面感染対策に配慮していきます。
	2	職員の配置数は適切である	1	2	3	利用人数 子どもの特性に合わせた人数の配慮ができる態勢を整えています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	2	指導訓練室が2階であるため 階段にてすりを設置し バリアフリーの床面にしております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	0	月に1度の職員会議 週に1度の支援会議 支援内容会議を行い 目標設定 振り返りの場としています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	0	保護者様からいただいたご意見を共有し 業務改善に つなげてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3	0	ホームページで公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	2	現在第三者による外部評価は行っておりませんが 今後検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	年6回の継続的な研修以外に 動画配信による研修の実施を 行うことで各自で時間帯を選び研修できる体制をとっています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	お子様の見学 体験時の様子・保護者様からのニーズや課題を 職員間で共有し 支援計画書(原案)の作成後支援会議を 行う中で 支援目標 内容を検討し支援計画書の作成を おこなっています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	0	統一されたアセスメントシートを利用しておりますが 改善を重ねて よりよいものにしていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	0	指導員各自で支援内容を考えるも 週1度職員全員で支援内容会議を 行うことで様々な意見を取り入れ 1ヶ月の予定を立てています。
	12	活動プログラムが固定化されないように工夫している	5	0	0	コロナの影響もあり 外出 職場体験 食レク等機会が減ってしまいましたが 子どもたちの意見もとりいれながら機会をふやしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	3	0	休日 長期休暇には 平日には行えない活動をとりいれていき 興味 関心の幅を広げて得意な事をみつけれる場にしていくことで 将来の選択肢を増やしていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	一人一人の課題を個別活動の中で支援するとともに おともだちとのコミュニケーション 社会でのルールを集団の活動で支援しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認している	4	2	0	活動2週間前には 当日の子どもたちにあったチーム分け 活動手順・狙いの確認をし 当日までに再度共有し 役割分担を確認しております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	1	支援終了後に行うことは難しいですが 申し送り(LINEWORKS)の活用 翌日の朝礼時での共有をおこなっております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	0	記録を書くことだけにとどまらず 支援にいかし 利用を楽しみにしていただけるようにつとめます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1	0	6か月に1度の定期的なモニタリングに加え 必要に応じて モニタリングを行い計画の見直しをおこなっております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	0	0	ガイドラインに示されている基本活動を組み合わせ支援を こころがけておりますが 地域との関わりをコロナ感染対策を しながらの取り組みを活動のなかに取り組んでいく。
関係機関	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	6	0	0	主に児童発達支援管理責任者が参加しておりますが 普段の支援の中での関わりを大事にし子どもに精通した者が 参加できるように努めます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2	0	学校との情報共有は基本的には 保護者様を通じて おこなっておりますが 学校への送迎時には 学校の様子 事業所での様子を共有していきます。
	22	医療的ケアを必要とする子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3	2	現在該当する児童はおりませんが 法人内の看護師からも 意見をいただき協力医 主治医と連携をとれる体制を 整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1	0	中高生が対象のため 就学前の園 事業所との 連携はとれておりませんが 法人内の事業所との併用 異動時には情報共有しております。

や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	3	0	該当する児童がいませんでした。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	0	連携をはかり 研修の機会には職員を可能な限り派遣し コロナ禍においては ZOOMでさんかできる環境を整えております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3	1	コロナ禍の中 活動は難し状況ではありますが 感染対策を十分に行い機会を広げていきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2	2	放課後デイ連絡協議会 子ども部会等への参加をしております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	送迎時に様子をお伝えしたり LINEWORKSで活動の様子を 伝えたりしております。 必要に応じて面談を実施してまいります。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	2	現在行っておりませんが 職員がペアトレーニングの知識を 研修を通して獲得し保護者様にフィードバックできる体制づくりから はじめていくことを検討していきます。
保護者への説明責任	30	運営規程、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	契約時に説明させていただいております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2	0	モニタリング 面談以外にも 必要に応じ保護者様との連携をはかり 必要な序言支援が行えるように日々研さんしてまいります。
	32	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	2	年に2回のイベントへの家族参加の機会を設けたり 全事業所での運動会を開催しております。 保護者様同士が 連携をとれるような保護者会が 開催できるように事業所間の連携にもつとめてまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	適切な人員を配置し 迅速に解決策提示できるよう対応しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1	0	月ごとの活動予定表 外出計画表を配布 LINEWORKSや インスタグラムの活用等で日々のこどもたちの活動の様子を知って いただくようにしております。 会報の発行が定期的に行えるようにしていきます。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	鍵付き書庫に書類は整理し 個人情報の持ち出しは禁止し 使用後は決められた場所に戻すことえを徹底しております。 また インスタグラム ホームページへの掲載等保護者様からの 承認を得ております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	視覚的な情報伝達等 子どもの特性に合わせた情報伝達 外国籍の保護者様への連絡等配慮しております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	1	以前は法人での蔵祭りを開催しておりましたが コロナの中開催を 中止しております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	0	契約時に説明させていただいております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	年に2回の防災訓練 災害避難計画の作成をおこなっております。 保護者様との災害時の連携をとれるような訓練を実施していきたいと 考えております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	0	虐待防止委員会を設置し 研修 職場環境の改善 ストレスチェックを 行い常に意識をもって支援しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後デイサービス計画に記載している	5	1	0	本年度から「虐待防止委員会」とともに研修を行い 身体拘束について十分理解した中でそのような状況になった時には 対応できるように備えてまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	0	アレルギーに関しては 保護者様と「おやつの提供・食レク等」 において実施前に成分を確認するとともに 起こってしまった時 の対応を事前に共有しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0	ヒヤリハットを毎月提出し 申し送りでの共有とともに 今年度から事例集を作成し検討 改善ととりくんでいきます。